

◆1次評価は、それぞれの主要事業の担当課が実施。

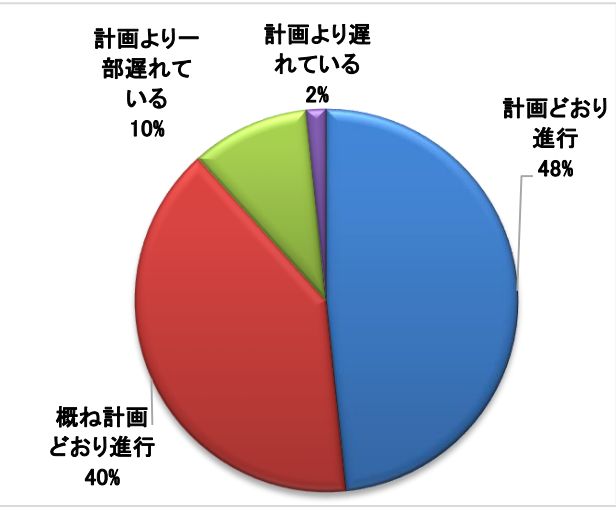
◆2次評価は、副市長や各参事等を委員とする行政評価調整会議で実施。

1次評価の概要

(1) 主要事業の評価

1次評価の結果	主要事業数	割合
計画どおり進行	29	48.3%
概ね計画どおり進行	24	40.0%
計画より一部遅れている	6	10.0%
計画より遅れている	1	1.7%
計	60	100.0%

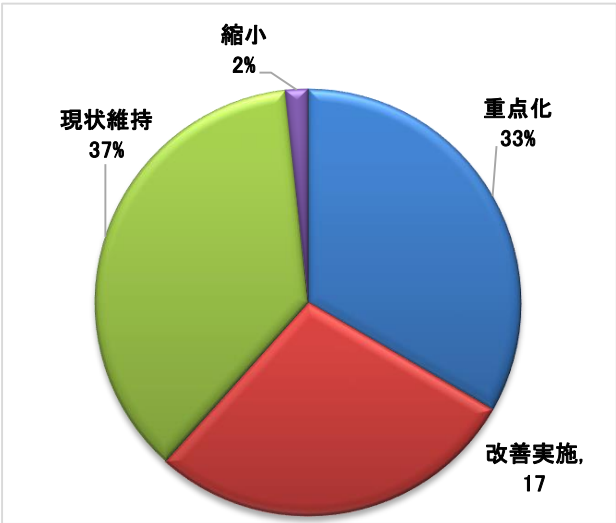
※事業数は延べ数(複数課で所管している事業があるため)。



(2) 主要事業の今後の方向性

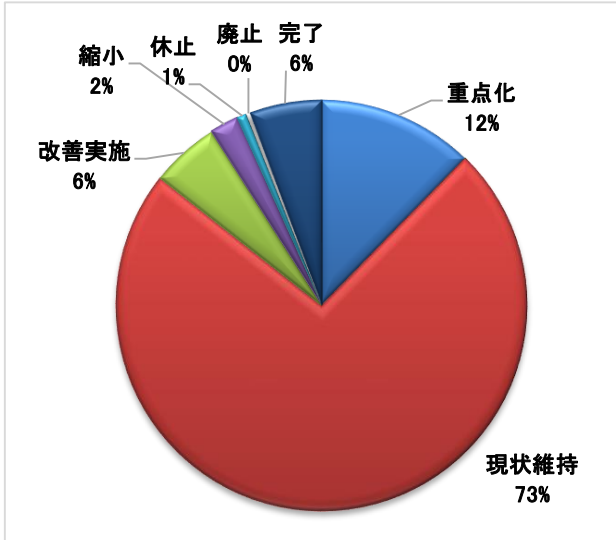
1次評価の結果	主要事業数	割合
重点化	20	33.3%
改善実施	17	28.3%
現状維持	22	36.7%
縮小	1	1.7%
計	60	100.0%

※事業数は延べ数(複数課で所管している事業があるため)。



(3) 主要事業を構成する事務事業の今後の方向性

事務事業の方向性	事務事業数	割合
重点化	48	12.3%
現状維持	286	73.3%
改善実施	21	5.4%
縮小	9	2.3%
休止	3	0.8%
廃止	1	0.3%
完了	22	5.6%
計	390	100.0%

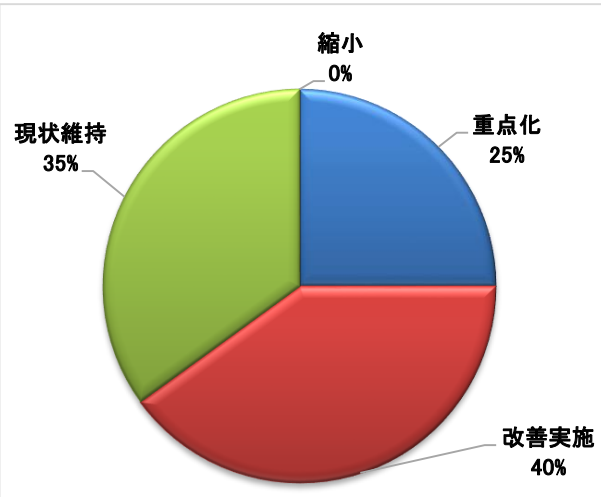


2次評価の概要

(1) 主要事業の今後の方向性

2次評価の結果	主要事業数	割合
重点化	15	25.0%
改善実施	24	40.0%
現状維持	21	35.0%
縮小	0	0.0%
計	60	100.0%

※事業数は延べ数(複数課で所管している事業があるため)。



■1次評価について

(1) 主要事業の評価

・「計画どおり進行」「概ね計画どおり進行」の評価が合わせて88.3%となった。
第五次総合計画に基づき、全体的に順調に進行しているといえる。

(2) 主要事業の今後の方向性

・担当課評価では、今後の方向性は「現状維持」が36.7%で最も多く、次いで「重点化」33.3%、「改善実施」が28.3%、「縮小」1.7%となった。

(3) 主要事業を構成する事務事業の今後の方向性

・事務事業については、今後の方向性は「現状維持」が73.3%で最も多く、次いで「重点化」12.3%となった。「改善実施」は5.4%に留まった。

■2次評価について

(1) 主要事業の今後の方向性

・行政評価調整会議による評価では、今後の方向性は「改善実施」が40.0%と最も多く、次いで「現状維持」35.0%、「重点化」25.0%となった。

※評価項目「今後の方向性」の用語の説明

- 【重点化】⇒ 人員や予算を重点化する
- 【改善実施】⇒ 手法の改善や体制の見直しを行い、人員や予算についても見直しを行う
- 【現状維持】⇒ 手法や体制の現状を維持し、人員や予算は前年度と同程度とする
- 【縮小】⇒ 人員や予算を縮小する